

2011年2月の屋久島におけるエラブオオコオモリの記録

山田島 崇文

The record of *Pteropus dasymallus dasymallus* in Yakushima Island in February 2011

Takafumi YAMADASHIMA

はじめに

エラブオオコオモリはクビワオオコウモリの亜種でオオコウモリ科に属する。本種について、國崎・船越（1996）は、初めて屋久島で死体を発見し、その生息を確認した。今回、屋久島で本種の死体4頭が発見され、本館がうち1頭を収集したので、その経緯等について報告する。

収集の経緯

屋久島北西部の熊毛郡屋久島町永田地区で、2011年2月9日に死体1頭が収集された。採集者は同地区在住の藤山義夫氏で、同氏所有のタンカン畑の防鳥ネットに絡まって死亡している状態で本個体は発見された。発見者が永田公民館に個体を搬送し、公民館より、町へ連絡が行われた。ネットに絡まった際にできたと思われる擦り傷が前腕等に数箇所あるものの、腐敗等は見られなかったという。本個体を標本として剥製化し、活用することを条件に文化庁に許可を得て、本館が収集した。

また、同じ永田地区で、2011年2月14日に死体3頭が収集された。採集者は同地区在住の日高重喜氏で、同氏所有のビワ畑並びにタンカン畑の防鳥ネットにそれぞれ2頭及び1頭（計3頭）が絡まって死亡していた。



図1 収集地（屋久島永田地区）位置図

発見者が13日に公民館へ連絡し、翌日公民館から町へ連絡が行われ、町教育委員会が本個体を確保した。個体（3頭）は、死後数日以上が経過しており、硬直し腐敗が始まっていたという。その後個体（3頭）は埋設処理された。なお防鳥ネットは、カラス等の果実食害防止のため、同町が許可したものである。

収集した個体

収集した個体（図2）の外部形態のサイズを測定した（表1）。首を取り巻く毛帯が白い褐色で、陰嚢は肥大しておらず長径が9mmであったことから、雄の亜成獣と考えられる。



図2 収集した個体

表1 収集した個体の測定結果

翼開長 (mm)	頭胴長 (mm)	前腕長 (mm)	体重 (g)
842.3	189.7	140.8	139.2

おわりに

今回の個体（4頭）は、口永良部島から約12km離れた永田地区に移動してきた可能性が高いと思われる。今後とも引き続き、情報を収集したい。

謝辞

本報告を行うにあたり、エラブオオコオモリの特徴などを御教示いただいた國崎敏廣氏、収集保管等

にご協力いただいた屋久島町役場の白濱秀記氏，計屋正人氏に心よりお礼申し上げます。

引用・参考文献

國崎敏廣・船越公威（1996）屋久島で発見された
エラブオオコウモリについて. 哺乳類科学,
35(2):187-191.

鹿児島県上屋久町教育委員会（2003）エラブオオコ
オモリ天然記念物緊急調査報告書. 76pp.

船越公威・國崎敏廣（1991）テレメトリー法による
エラブオオコオモリの行動域. 自然愛護, 17:3-
5.